

氏名	鍋田尚子
学位の種類	博士（歴史民俗資料学）
学位記番号	博甲第244号
学位授与の日付	2019年3月31日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
学位論文の題目	ベトナム竈神研究 ―その歴史の変遷と地域性―
論文審査委員	主査 神奈川大学 教授 佐野賢治 副査 神奈川大学 教授 小熊誠 副査 神奈川大学 教授 安室知 副査 天理大学 名誉教授 飯島吉晴 副査 筑波大学 名誉教授 古家信平

【論文内容の要旨】

本論文はベトナム人（キン族）の家の神信仰の中心ともいえる竈神の歴史的形成とその民俗誌の分析からベトナム人の心意、民族性の一端を具体的に提示することを目的とする。ベトナムでは、フランス植民地、日本による軍政、ベトナム戦争、その後の国内の政治情勢などの要因によりベトナム人自身による自文化研究の蓄積は少なく、竈神についても国内的に多様な歴史と地域性を有しながら、その歴史の変遷や地域差を考慮した実証的研究は現在、その緒についたばかりといえる。

先行研究が少ない中、本論文では序章と終章を含め以下、全8章の構成で、「民間信仰」研究の視角からベトナムの竈神を通時的・共時的の両面から捉え、ベトナム民俗文化におけるその意義を明らかにする。

序章

第1節 本研究の目的 第2節 先行研究と問題の所在 (1) 民間信仰に関する研究 ①中国・台湾の宗教と民間信仰 ②ベトナムの宗教と民間信仰 ③日本の民俗学における民間信仰 (2) 竈神についての研究 ①東アジアの昔話研究 ②ベトナムと中国の竈神の文献による比較研究 (3) 歴史の視点からの竈神研究 (4) 民俗の視点からの竈神研究 ①家レベルの年中行事と民間信仰 ②竈神の地域研究 ③物質文化と竈神 (5) 本研究の視点―歴史の変遷・地域性・物質文化・比較研究からみる竈神 第3節 研究の概要 (1) 研究方法 ①歴史学的アプローチ ②民俗学的アプローチ (2) 論文の構成

第1章 竈神の歴史の変遷

第1節 ベトナムの概況 第2節 ベトナムの竈 (1) 出土遺物からみる竈 (2) 版画からみる竈―アンリ・オジェ編纂の版画から― 第3節 竈の変遷 (1) 竈の変遷 (2) 竈の名称 (3) 竈と住居 第4節 文献資料からみる竈神 (1) 17世紀の竈神 (2) 18世紀の竈神 (3) 19世紀の竈神 (4) 20世紀から現在の竈神 第5節 竈神を祀る儀礼の変遷と地域性 (1) 竈神を祀る場所と方位 (2) 家のなかで祀られる神 (3) 竈神の神体と新旧交換 (4) 竈神の乗り物 第6節 まとめ―竈と竈神の歴史の変遷―

第2章 竈神の信仰と儀礼にみる地域性—北部地域・中南部地域—

第1節 ハノイ市とタイビン省の竈神を祀る儀礼の実態—北部地域の地域性— (1) ハノイ市の調査地概要 (2) ハノイ市の竈神を祀る儀礼の実態 (3) タイビン省ヴートゥー県ミーアム集落の事例 (4) 北部地域の竈神の地域性—具象から抽象へ— 第2節 中南部地域の竈神 (1) 中南部地域の概況 (2) 竈神を祀る儀礼の実態 (3) 南部地域の亭で祀られる竈神 (4) 中国系移民の影響による竈神を祀る儀礼 第3節 中部ホイアン旧市街の竈神を祀る儀礼の実態 (1) ホイアンの概況 (2) 旧市街の家屋と竈について (3) 竈神を祀る儀礼の実態 (4) 風水思想に基づく竈と竈神 第4節 まとめ—ベトナムの竈神の地域性—

第3章 旧王都フエ地域の竈神の信仰と儀礼

第1節 フエ地域の概況と竈神 (1) フエ地域の概要 (2) 調査地概要 (3) 王宮で祀られる竈神 (4) 灶君経と疏文 第2節 フエ地域の家レベルの年中行事と民間信仰 (1) フエ地域の年中行事 (2) フエ地域の家レベルの民間信仰 第3節 竈神を祀る儀礼の実態 (1) 竈神を祀る実態 (2) 竈神儀礼と神像の新旧交換 (3) 家屋と台所と竈神の方位 第4節 フエ地域の竈神 (1) 伝統的な儀礼の継承と独自性 (2) 民間信仰と竈神 (3) 竈神の両義性 (4) フエ王宮の存在 (5) まとめ

第4章 物質文化からみた竈神 (1) —フエ地域で形成された竈神の神体—

第1節 フエ地域の竈神の神像 (1) 現在の竈神の神像 (2) 台所と竈神の神像 (3) 木の下や廟、庵で見送られた竈神の神像 (4) 市場などで売られる神像 第2節 ディアリン村で神像が製作されるまで (1) ディアリン村の概況 (2) ディアリン村の初代神像製作者 (3) シン村の神像製作 (4) フォックティック村の土製支脚と神像の製作と竈神の神体 (5) ディアリン村で神像が製作されるまで 第3節 現在の竈神の神像製作と流通 (1) ゴー・ドゥク・フン (Ngô Đức Hùng) 氏とホアン・ティ・トゥ (Hoàng Thị Thu) 氏 (2) ヴォー・ヴァン (Võ Văn) 氏4兄弟 (3) チュオン・ヴァン・ムオイ (Trương Văn Mười) と息子ダット (Đạt) 氏 第4節 神像の製作工程と道具—ヴォ・ヴァン氏の製作を中心に— (1) 製作工程 (2) 道具と箱型レンガ窯 第5節 神像を祀ることからみえるフエ地域の竈神 (1) 台所の変遷と竈神の神体と神像の変遷 (2) 新たに作られた神像からみるフエ地域の人々の竈神

第5章 物質文化からみた竈神 (2) —王都フエの農民が願いを込めた儀礼版画—

第1節 ベトナムの竈神版画 (1) ベトナム国内で描かれた竈神版画 (2) 先行研究と本章の研究の視点 第2節 シン村版画の歴史と伝統的版画業 (1) シン村の概況と歴史 (2) シン村版画の歴史 始まりと迷信異端の禁止と伝統復興の現在 (3) 伝統的版画業と職業始祖への祭礼 (4) 4人の女性による版画業 (5) 現在のシン村伝統的版画の継承者 キー・ヒウウ・フォック氏 第2節 シン村の竈神版木とモチーフ (1) シン村の竈神版木 (2) 研究者によるモチーフ解説 (3) 現在製作されている竈神版画のモチーフの比較 (4) 版画製作者によるモチーフ解説 第3節 北部地域の竈神版画との比較 (1) ドンホー版画のなかの竈神版画 (2) アンリ・オジェ編纂の竈神版画 (3) 竈神版画の比較 第4節 シン村の竈神版画に描かれた特徴 (1) シン村の竈神版画の解説とモチーフの比較 (2) フエ王宮の影響 (3) 民俗学的視点からみたシン村の版画製作

第6章 竈神の比較研究—東アジアの昔話を中心に—

第1節 ベトナムの竈神 昔話の歴史的変遷 (1) 20世紀の昔話 (2) 17世紀の昔話 (3) 18世紀の昔話 (4) 昔話の変遷からみる竈神 第2節 東アジアの竈神と昔話 (1) 東アジアの竈神と昔話 (2) ベトナムの少数民族ムオン族の昔話 第3節 昔話からみたベトナムの竈神の特徴 (1) ベトナムの竈神の昔話の特徴 (2) 昔話からみたベトナムの竈神の特徴

終章—結論と今後の課題—

第1節 結論 (1) 通時的視点からみたベトナムの竈と竈神 (2) 東アジアの昔話の共通性と独自性からみたベトナムの竈神 (3) ベトナムの竈神とは何か—民間信仰の視点からみた地域性・他地域との共通性— (4) ベトナムの民間信仰における竈神の位置付けと家の神 第2節 今後の課題 巻末に、参考文献・写真・資料・図表一覧を付す。

以上の論文内容の構成において、4、5章「物質文化からみた竈神」が、フエ地域の現地調査の聞き書き報告も含め本論の中核をなす。実用品としての竈・「物」と信仰対象としての竈神・「もの」を、「モノ」として合わせ見る視角から、可視的な物質文化として考古資料や版画を通時的に詳細に整理、読み解き、その一方で信仰・儀礼や民話などに伺われる心意の分析を通し、もともとは土製支脚に由来し、竈神として表象化された「オンタオ」が、フエ地域では各家庭に祀られ、両者の性格が「オンタオ」に集約されていった過程の一面を版画の詳細な図像解析などで試みる。また、フエ地域の竈神の信仰と儀礼には王宮儀礼が反映していることをその祭具の形成で解説する。

また、共時的には南北に長いベトナムにおいて、竈神の多様な地域性を示す実例をあげる一方、その共通性についても、フエ地域の竈神民俗誌を提示することで国内における比較研究の指標を示した。さらに、東南アジアの諸民族、漢字文化圏の中国・韓国・日本、何よりも近接の沖縄の竈神との異同と今後の比較民俗研究の有効性についても昔話を素材に論じる。

ベトナムの竈神・は現在、社会経済の発展にともない台所の構造や暮らし方が大きく変わる中でも、家、家族の重要な神として、都市部や地方村落に関係なく広く各家庭で祀られている。時代や地域の要請に対応しながら祀り続けられてきた「オンタオ」はベトナム人の心意が反映しているのである。

【論文審査の結果の要旨】

竈は火の機能、調理・照明・暖房・防衛等の中で調理の役割を主に果たすが、人類史から生活史まで即してみても、その永い火の分化の歴史の中で、人々は炉や竈に対し、それぞれの民俗文化を醸成してきた。本論文の評価すべき点は第一に、ベトナム人の家の神を代表する竈神信仰の体系化を目指す一環として、考古・歴史・民俗資料を総合し、その来歴と地域性を概括した上で、ベトナム中部フエ地域の竈神民俗誌を作成し、その妥当性を検証する手堅い方法で論を進めたことである。第二には、著者の学部時代に学んだ考古学、大学院で身につけた歴史・民俗学の視角、方法が物質文化としての竈の扱い、神像製作の実態と変遷、竈神版画に描かれたモチーフ分析に如何なく発揮され、さらにベトナム語をマスターした上での「オンタオ」の制作者、村人からの直接聞き書きが資料に厚みを加え、本論文を学際的に水準の高い資料論にしている。第三には、二にも関連するが、可視的な物質文化としての竈に対する扱いと同等に、竈神に対する信仰・儀礼・昔話などに伺われる人々の心意の有り方を合わせて考察したことである。いわば、民具研究と民俗研究の結合を、「オンタオ」を具体例にその有効性を提示したといえる。そもそもベトナムにおける竈神研究の先行研究の不足が、自身による基礎史資料の整理と民俗調査の要請となり、本論文はその意味でも現時点でのベトナム竈神信仰の集成、基本論文として位置づけられる。それ故に、さらなる論及、言及が欲しい点が、二、三ある。

その一つは、竈神信仰を主に現在の竈神をめぐる民俗誌の分析からその性格や機能の究明に力点を置いたために、歴史的諸史料の扱いとの間にバランスを欠いている点である。フエ地域の竈神を祀る儀礼が、伝統的形式を継承しながら、祭具においては独自に形成されてきたことを明らかにす

る中で、ベトナム族の南進とチャンパ王国との関わり、明末清初の中国系移民の影響、阮朝の形成などのさまざまな歴史的・社会的事象の影響を指摘しているが風水思想方面など、竈神との関連ではさらなる解説が望まれる。その二としては、時間軸に対し空間軸、竈神の分布の地域差、その要因をどう読み解くのかである。本論文では、ベトナムを北・中・南部に大きく分けるが、北部が中国の影響を色濃く受けることなどの歴史的影響は了解できるが、いずれも東部は広範囲に他の民族、国に接しており、その影響関係の多寡に多少とも言及が欲しかった。その三としては、今後の課題としての竈神信仰の比較民俗研究への著者の課題、研究視角の披歴である。本論文では、ベトナムで語られる竈神の昔話は、中国の竈神由来譚の再婚型、日本の炭焼き長者、男女の福分、産神問答の再婚型に類似し、東アジアの昔話との共通性をも指摘しつつ、ベトナムの竈神が女神一体、男神二体計三体で構成される独自性を論じている。その異同の背景を文化伝播論、あるいは神話の構造論、風土論など、どう捉えていくかについても指針を示して欲しかった。東アジア漢字文化圏の中にあって、圧倒的な中国の竈神信仰、風水信仰の影響と土着の固有信仰として竈神との習合の様相を各時代・地域の竈神信仰が呈しているとの著者の説明は了解できる。つまり、本論は外来宗教と土着的なカミ信仰の交渉史、通時的あり方に注目する「民間信仰」論の立場からベトナムの竈神信仰を論じたといえるが、竈神本体の問題だけではなく香炉、線香、供物などその象徴性も含めて、日本本土、沖縄に軸足を置いた竈神の比較研究を著者に期待したいものである。

いずれにしろ本論文は、ベトナム本国でも従来、総合的に論じられてこなかった竈神信仰を民俗学的視点を中核に据えながら果敢にその全体像を描くことに努め、その基調に流れる性格の究明に取り組んだ労作といえる。言い換えれば、現時点における竈神信仰がいかなる信仰実態を示し、その史的背景はいかなるものかをこの信仰が現存する地域の信仰民俗誌を精細に作成し、そこから析出された問題点を歴史的にフィードバックさせて分析、考察したものといえる。このため本論は全体的に時間軸の始発を現代に設定したフィールド調査の成果を十分に活かした実証性の高い内容を示しており、章ごとに課題設定を行いその結論を明確に述べるなど構成もしっかりとしており、論点が理解しやすい体裁がとられていることも高く評価したい。さらに、地域社会における宗教・信仰の機能の意味付け、宗教的職能者の役割を重視する共時的な「民俗宗教」論の視角から、家の屋内神としての竈神、屋外神・屋敷神としてのアン（庵）、村の神の性格も持つティン（亭）との関係における「オンタオ」の位置づけにも言及すればさらに説得的な論考となる。

本論文は、このようにさらに補い、深化させるべき点もあるが、竈神信仰に関係する民俗学・考古学・歴史学方面の文献・論文を精読し、先行研究の学説の整理と検討を綿密にした上で研究課題を設定し、フィールドをベトナムに求め現地語をマスターするとともに、関係する史・資料の博搜と現地調査による諸資料の総合化に基づいた分析と考察を的確に行っている。

以上、本論文は、ベトナムにおける竈神信仰の歴史的展開を概括し、その上でこの信仰の地域的展開の意味をベトナム中部フエ地域の竈神民俗誌を作成した上で分析し、今後のベトナムにおける竈神信仰研究の調査法・研究視角、さらに比較民俗研究の必要性を具体的に提示した、まさに歴史民俗資料学の学位請求論文として高く評価できるものである。ベトナムの考古・民俗・歴史学界にも大きく貢献する内容を有するのは確かである。また、口頭試問において著者に更なる質問を試みたがいずれも相応しい応答であった。その結果も合わせ、鍋田尚子氏に博士（歴史民俗資料学）の学位を授与することがふさわしいものと審査員一同これを認めるものである。